



















■使用評価マニュアル: 北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル




■使用評価ソフト: CASBEE北九州_2014(v2.0)

1 建物概要

建物名称	産業医科大学病院南別館新築工事	BEE	1.5	BEEランク	A	★★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	---	------

2 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.8 / 5	   	ふつう 
2 地球温暖化対策の推進	3.6 / 5	   	ふつう 
3 豊かな自然環境の確保	3.0 / 5	  	ふつう 
4 高齢社会への対応	3.0 / 5	  	ふつう 

※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつう 3 点以上 	がんばろう 3 点未満 
-------------------------------------------------------	-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル:	CASBEE-建築(新築) 2014年版	使用CASBEE評価ソフト:	CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)
1 循環型社会への貢献		スコア平均 3.8	
リサイクルに関する配慮		長寿命化に関する配慮	
LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 3.4	Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数	スコア 4.5
		Q2/ 3 対応性・更新性	スコア 3.6
外装の大部分を吹付塗材の採用、内部間仕切りを乾式とすることで更新時に容易に取り外し可能		躯体材料は等級3相当を使用し、長寿命化に配慮 長寿命配管材料の採用	
地球温暖化対策の推進		スコア平均 3.6	
省エネ・省資源に関する配慮		節水に関する配慮	
LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 3.2	LR2/ 1.1 節水	スコア 4
高効率空調機器の採用		手洗いは自動水栓、節水型便器、擬音装置付き洗浄便座	
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均 3.0	
生態系保全に関する配慮		緑化に関する配慮	
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 3	Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 3
		LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 3
<自由記述>		<自由記述>	
4 高齢社会への対応		スコア平均 3.0	
バリアフリーに関する配慮		主な指標	
Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 3	建物の外皮性能 (BPI評価)	
<自由記述>		非住宅:BPI値、住宅:省エネ等級	
		0.74	
		建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価)	
		非住宅:BEI値、住宅: -	
		0.93	
		外構緑化指数	
		5.62 %	
		建物緑化指数	
		%	

: 入力欄

: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

CASBEE®-建築(新築)

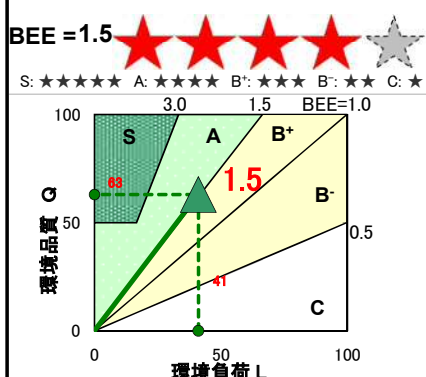
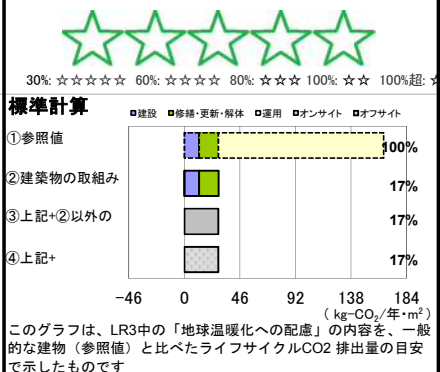
評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

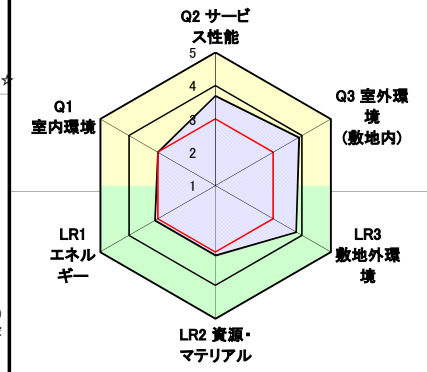
1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	産業医科大学病院南別館新築工事	階数	地上4F、地下1F	
建設地	福岡県北九州市	構造	RC造	
用途地域	市街化区域、第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	373 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年9月20日	
敷地面積	345,059 m ²	作成者	藤 致滋	
建築面積	1,505 m ²	確認日	2017年9月22日	
延床面積	6,567 m ²	確認者	藤 致滋	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

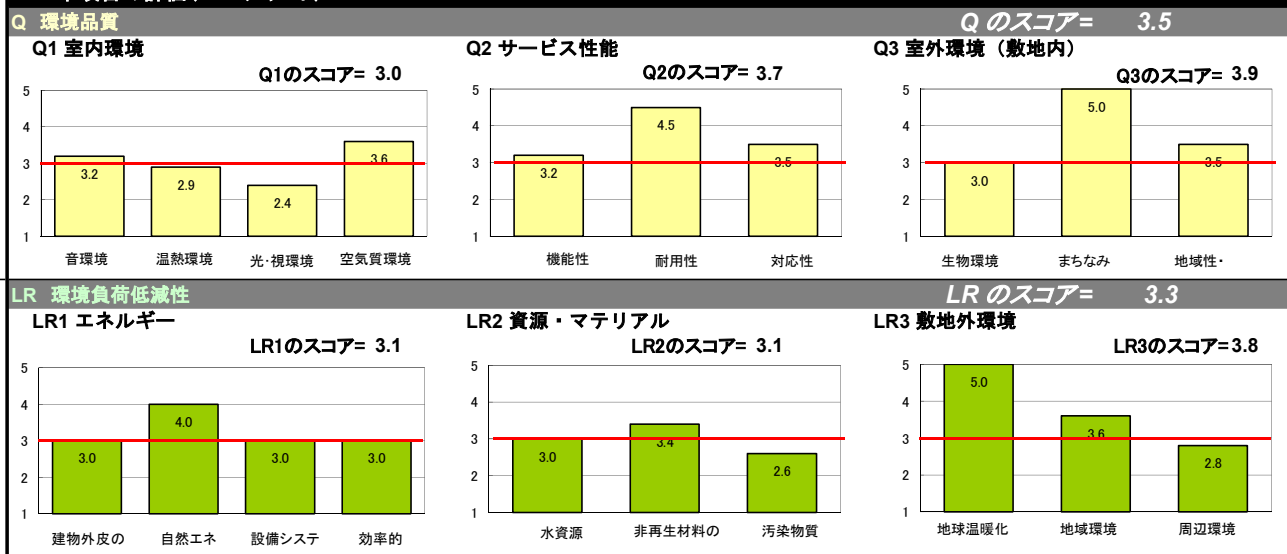
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合			その他
<ul style="list-style-type: none"> 最先端医療をささえ、既存病院本館と将来病棟へのシームレスな連携を重視した計画 将来への変化に対応しやすい施設計画 省エネに配慮した計画 			・特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	
・適正な外皮性能(複層ガラスを採用したサッシ、日除けルーバー)により空調負荷を軽減	・バリアフリー計画により機能性・使いやすさに配慮	・敷地内や建物周りに植栽を設けることで室外環境に配慮	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
・適正な外皮性能(複層ガラスを採用したサッシ、日除けルーバー)により空調負荷を軽減	・有害物質を含まない材料を用いる等の配慮	・騒音・振動等について周辺環境に配慮	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版

産業医科大学病院南別館新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
				評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質								3.5	
Q1 室内環境					0.40		-	3.0	
1 音環境				3.3	0.15	3.1	1.00	3.2	
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音				3.8	0.40	3.4	0.40		
1 開口部遮音性能		T-2以上で計画		5.0	0.40	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	2.0	0.20		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境				2.9	0.35	2.8	1.00	2.9	
2.1 室温制御				3.3	0.50	3.0	0.50		
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性		ゾーン別の系統分け、冷暖同時エアコンの設置		4.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				2.0	0.20	2.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				2.3	0.25	2.9	1.00	2.4	
3.1 昼光利用				1.8	0.30	1.8	0.30		
1 昼光率				1.0	0.60	1.0	0.60		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策		庇により制御		2.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		カーテン、庇の2種類以上の組合せにより制御		2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.7	0.25	3.5	1.00	3.6	
4.1 発生源対策				3.0	0.50	3.0	0.63		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00		
					-		-		
4.2 換気				4.0	0.30	4.3	0.38		
1 換気量		建物全体(外来待合・診療室)は30m3/h人、住居(病室)は35m3/h人		4.0	0.50	5.0	0.33		
2 自然換気性能					-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		空気取入れ口は汚染源のない方位で、排気口と6m以上離ている		4.0	0.50	5.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視					-		-		
2 喫煙の制御		病院内(建物全体)すべて禁煙		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.7	
1 機能性				3.0	0.40	4.4	1.00	3.2	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		病室個室は10㎡/床以上かつ4床室は8㎡/床以上			-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応					-		-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.5	0.40		
1 広さ感・景観		病室部分は天井高さ2.5m以上(2.515m)			-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
					-		-		
2 耐用性・信頼性				4.5	0.30		-	4.5	
2.1 耐震・免震				4.6	0.50		-		
1 耐震性		建築基準法に定められた50%増しの耐震性		5.0	0.80		-		
2 免震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				4.5	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		等級3相当		5.0	0.20		-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔		30年以上		5.0	0.20		-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		20年以上		5.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		高湿系ダクト(浴室等)にステンレスダクトを使用		4.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用しEは不使用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		

2.4 信頼性			4.4	0.20		-	
1	空調・換気設備	評価する取組みが3つ以上	5.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備	評価する取組みが4つ以上	5.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA、設計用水平震度KH1.5以上	4.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	評価する取組みが4つ以上	5.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.6	0.30	3.2	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	3.4	0.50	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上(4.3m)	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		1.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			4.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性	ゆとりを持った階高により天井スペースが確保され更新・修繕が可能	4.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく、更新・修繕が可能	4.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	構造部材・仕上り材を痛めることなく、更新・修繕が可能	5.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	構造部材・仕上り材を痛めることなく、更新・修繕が可能	5.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性	主要設備機器の更新・修繕時に機能を維持	5.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.9
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		既存建物と同じ外装材を用い周辺環境との調和をはかる	5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30		-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある外装材を用い、ピロティや庇を設け快適性の向上をはか	4.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20		-	3.0
2 自然エネルギー利用		4階にトップライトを採用	4.0	0.10		-	4.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.93 住宅(専有部) 0.83	3.0	0.50		-	3.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)				-		-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60		-	3.4
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	グリーン購入法における「特定調達品目」(ビニル床材)	3.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	評価する取組みが2つ以上	5.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20		-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率が参照値に対して50%以下	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮			3.6	0.33		-	3.6
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	評価する取組みが4つ以上	5.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.50		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		3.0	0.50		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		2.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	